

出品目録

【特別展】歌麿大作 吉原の花と深川の雪

2017年7月28日(金)～10月29日(日)

作品名	作者名	時代	世紀・西暦	所蔵	歌麿雪月花
2階展示室					
品川の月(複製画)	原本:喜多川歌麿	原本:江戸時代	原本:天明8年(1788)頃		掲載
吉原の花	喜多川歌麿	江戸時代	寛政3～4年(1791～92)頃	ワズワース・アセーニウム美術館(アメリカ)	掲載
深川の雪	喜多川歌麿	江戸時代	享和2～3年(1802～06)頃		掲載

【4階 テーマ展示】人物表現の広がり ―土偶・埴輪から近現代の美人画まで―

作品名	作者名・産地	時代	世紀・西暦	所蔵	名品撰No.
1 古代の人々 日本の土偶・埴輪/中国の俑					
土偶(ハート形土偶)		縄文時代後期	紀元前2000～紀元前1000年		
土偶(山形土偶)	伝 埼玉県出土	縄文時代後期	紀元前2000～紀元前1000年		052
土偶(遮光器土偶)	伝 岩手県出土	縄文時代晩期	紀元前1000～紀元前400年		
土偶(遮光器土偶)	伝 青森県出土	縄文時代晩期	紀元前1000～紀元前400年		
埴輪 武人		古墳時代	6世紀		
埴輪 女性		古墳時代	6世紀		
埴輪 壺を乗せる女性	伝 千葉県出土	古墳時代	6世紀		
埴輪 人物	伝 茨城県出土	古墳時代	6世紀		
加彩楽舞俑		唐時代	7～8世紀		003
三彩騎馬婦人		唐時代	8世紀		
三彩鴨と男子俑		唐時代	8世紀		
三彩婦人		唐時代	8世紀		
三彩文官		唐時代	8世紀		
2 神仏の世界					
十二因縁絵巻断簡		鎌倉時代	13世紀		155
青花羅漢文皿	景德鎮窯	明時代	17世紀		
色絵琴高仙人文鉢	有田	江戸時代	17世紀末～18世紀初期		
雲龍・善財童子図	狩野秀頼	室町時代末期～桃山時代	16世紀中頃		081
風神図	酒井抱一	江戸時代後期	19世紀前半		
閻魔図	酒井鶯蒲	江戸時代後期	19世紀前半		
3 異国へのあこがれ					
舜王・娥皇・女英図	狩野探幽	江戸時代	寛文5年(1665)		084
靈照女図	狩野秀頼	室町時代末期～桃山時代	16世紀中頃		
丹霞龐居士図巻	伝 李公麟	南宋時代	12～13世紀		148
黒漆楼閣人物図螺鈿合子		明時代	15世紀		
法花琴棋書画文壺	景德鎮窯	明時代	15～16世紀		
色絵周茂叔愛蓮文皿	有田・柿右衛門様式	江戸時代	17世紀後半		
4 物語の人物たち					
明石図(源氏物語図屏風断簡 藤井家旧蔵)	依屋宗達	江戸時代前期	17世紀前半		
絵合図(源氏物語図屏風断簡 団家旧蔵)	伊年印	江戸時代前期	17世紀前半		
源氏物語図屏風	伊年印	江戸時代前期	17世紀中頃		
源氏物語手箱		桃山～江戸時代	17世紀初期		
八幡太郎義家奥州征伐図時絵料紙硯箱	象彦(八代西村彦兵衛)・瀬川嘯流	明治～昭和時代	19～20世紀		
堀江物語絵巻断簡	岩佐又兵衛	江戸時代前期	17世紀中頃		120
平家物語図屏風 裏:源氏物語図・百人一首色紙貼交屏風		江戸時代前期	17～18世紀		085
5 働き、遊ぶ					
四季耕作図屏風	葛飾北斎	江戸時代後期	19世紀初頭		
笹掛日切図	英一蝶	江戸時代前期	宝暦4～6(1707～09)年頃		
笹掛日切図	英一珪	江戸時代後期	19世紀前半		
遊楽図巻	宮川長春	江戸時代中期	18世紀前半		122
隅田川納涼図	歌川豊春	江戸時代中期	18世紀後半		124
江戸四季風俗図巻	伝 菱川師宣	江戸時代前期	18世紀		
ウンズンカルタ		江戸時代初期	17世紀		
6 江戸時代の美人画					
色絵波濤花散文美人像	有田・柿右衛門様式	江戸時代	17世紀後半		
誰ヶ袖図屏風		江戸時代初期	17世紀		089
蚊帳美人図	西川祐信	江戸時代中期	18世紀前半		123
美人に犬図	勝川春章	江戸時代中期	18世紀後半		
三美人図	喜多川歌麿	江戸時代中期	18～19世紀		125
立美人図	葛飾北斎	江戸時代後期	19世紀初頭		
傾城図	葛飾北斎	江戸時代後期	19世紀前半		128
美人愛猫図	河鍋暁斎	明治時代	19世紀後半		130
7 近現代の美人画					
夕涼	上村松園	昭和時代	20世紀前半		139
汐くみ	上村松園		昭和16年(1941)		140
雪の日	鎌木清方		大正6年(1917)		
早春	伊東深水	昭和時代中頃	20世紀中頃		
音律	立石春美	昭和時代	20世紀後半		
三千歳	伊東深水	昭和時代中頃	20世紀中頃		
セピアの肖像	森本草介		平成9年(1997)		
逸品室					
芸妓図	喜多川歌麿	江戸時代中期	18～19世紀		126

【凡例】・作品は「吉原の花」以外、岡田美術館収蔵です。・図録の作品番号と、展示順序とは一致しません。
・「歌麿雪月花」並びに「名品撰No.」は、各々『喜多川歌麿 大作「雪月花」』(2017)、『岡田美術館名品撰』(2013)をさします。